

豊橋市洪水ハザードマップ

紙田川の洪水による危険な地域を示した地図

紙田川洪水ハザードマップについて

この地図は紙田川がおよそ30年に一度の割合で発生が予想される大雨によって増水し、破壊した場合の洪水範囲とその程度並びに各地区の避難場所を示したものです。
あなたが住んでいる地区の浸水や崖崩れなど、大雨による災害の発生が予想される場所や状況を日頃からよく把握し、雨の降り方や浸水の状況に注意して、危険を感じたら自主的に早めの避難を心がけましょう。
洪水により大きな災害の発生が予想される場合は、市から避難勧告や避難指示が出されますのでこの際には速やかに避難してください。
いざという時に備えて、あなたの家から避難場所までの経路などを書き込んで見やすい場所に貼っておきましょう。
なお、地図に示した区域以外にも、状況によっては浸水することがありますので注意してください。

雨の強さの目安	
1時間雨量(ミリ)	1.0~2.0
予報用語	やや強い雨
人の受ける体感	傘が濡れる
人への影響	濡れから体感する

避難所一覧表

名称	電話番号
第一指定避難所	
老津校区市民館	23-1485
杉山地区市民館	23-2216
第二指定避難所	
老津小学校	23-0025
章南中学校	23-1328
家政高等専修学校	23-0127
杉山小学校	23-0069

施設電話番号

名称	電話番号
豊橋市役所(夜間休日)	51-2421
豊橋警察署	54-0110
消防本部	51-3116
災害対策本部(緊急時)	51-2055
豊橋市民病院	33-6111

信号による情報伝達

避難警報	水防信号	打鐘信号	サイレン信号
事前避難警報	水防警報信号	〇〇 〇〇〇〇 (2点と3点の打打)	約60秒 約60秒 (間隔約60秒)
緊急避難警報	避難信号	〇〇〇〇〇〇 (短音)	約3秒 約3秒 (間隔約2秒)

(注) 避難警報が出された場合には、このような信号によってお知らせします。日頃から信号の意味を理解し、大雨時には注意するよう心がけましょう。

洪水ハザードマップの見方

洪水ハザードマップには大雨で河川が破壊したときに予想される水深を色別で表しています。水深の目安はおおよそ次のとおりです。

色	浸水深	水深の目安
紫	2m以上	2階以上の浸水が考えられる
青	1m~2m	1階の軒下までつかえる
緑	0.5m~1m	大人の膝までつかえる(床上浸水)
黄	0m~0.5m	大人の膝までつかえる(床下浸水)

浸水実績区域(避難時の危険区域)	
●	第一指定避難所
●	第二指定避難所 (第一指定避難所の収容能力を超えた場合などに開設します。)
●	消防団器具庫
●	水防倉庫
P	排水機場及びポンプ場
■	急傾斜地崩壊危険区域
■	急傾斜地崩壊危険箇所
+	病院

主な水害記録

水害名	降雨規模	豊橋市の被害
昭和28年9月洪水(台風13号)	—	全壊107棟、半壊669棟、流失43棟 床上浸水1504棟、床下浸水2573棟
昭和34年9月洪水(伊勢湾台風)	205mm/日	死傷者130人、家屋倒壊2135棟 床上浸水157棟、床下浸水288棟
昭和41年10月洪水(界雷豪雨)	237mm/日	死者9人、全壊2棟、半壊5棟 床上浸水1857棟、床下浸水13243棟
昭和47年9月洪水(台風20号)	143mm/日	全壊2棟、半壊18棟 床上浸水136棟、床下浸水1650棟
昭和49年7月洪水(台風8号)	235mm/日	死者1人、半壊24棟 床上浸水833棟、床下浸水4450棟
昭和57年8月洪水(集中豪雨)	198mm/日	床上浸水67棟、床下浸水455棟

